

答弁（健康推進課長）

(5) 大事な問題であるが、慎重に動向を見ながら進めていきたい。

(6) 市保健センター、十四山保健センター、いずれでも対応できるように考えている。

答弁（教育部次長）

(7) 22年度までに耐震補強工事を実施する予定で、玄関と教室のつなぎ部分は耐震性を有していないので、取り壊しをする予定である。

質疑（佐藤博議員）

(1) 海翔高等学校連絡協議会負担金を他の高校との関係上、いつまで負担するのか、最終するのか大事な問題ではないか。

(2) 女性の会を大切に育て、魅力ある活動を展開し組織化を図る考えはあるか。

(3) 関西本線複線電化促進連盟負担金について目的達成の可能性はあるのか。

(4) 海部地区環境事務組合の施設の入札問題について、現在どうなっているのか。

答弁（副市長）

(1) 存続するかしないかは、教育委員会の意見も聞いて対応していく。

答弁（市長）

(2) 女性ならではの知恵とか、地域の活動が要望され、各議員にも活動に対する指導等を願いたい。

(4) 大変大きな訴訟問題であり、各市町村の負担金が少なくなるように、解決してもらいたいと願っている。

答弁（総務部長）

(3) 複線電化については多大な投資が必要で、輸送需要の見込み、収支採算性を見極めて判断するとの回答が寄せられている。

質疑（三宮議員）

(1) 予算の説明書等で、市民が理解できる資料を示し、市、議会、市民が一致した認識をしていくことが大事ではないか。

(2) 市職員の職場環境と給与の改善を進めてもらいたいがどうか。

(3) 北中の自転車通学の自由化は、どういう条件を実現したら解消されるのか。

答弁（市長）

(1) 皆の意見を聞き、今後の財政状況も見ながら健全な予算づくりをしていきたい。

(2) 臨時職員の採用や再雇用の嘱託職員の再雇用などで職場環境の改善にも努め、生活を支えるための給与も大変必要で、今後も改善を進めていく。

答弁（教育部次長）

(3) 駐輪場の増設工事を行い、学校、PTA、教育委員会等で協議検討し、自転車通学の範囲を拡大していきたい。

討論

賛成討論（三宮議員）

市としてさまざまな努力を市長や職員がしていることに敬意を表し、それなりの評価はしているが、今日の市民の置かれている状態と市の行政力・財政力にふさわしいものにさらに発展させてもらいたい。

そのためには、一層の努力が必要であり、その取り組みを強く求め賛成討論とする。

採決

全員賛成で可決

20年度後期高齢者医療特別会計予算

3億2、700万円が計上されました。

討論

反対討論（安井議員）

この制度により、高齢者への負担増と医療の切り捨ては、一層拍車が掛かることになる。
日本医療の危機的状況を打開し、日本医療の真の再建のために、20年度市後期高齢者医療特別会計予算に反対する。

採決

賛成起立15人で原案可決
反対2人（三宮、安井）

後期高齢者医療に関する条例の制定

後期高齢者医療制度創設に伴い必要があるからです。

採決

賛成起立15人で原案可決
反対2人（三宮、安井）

選挙管理委員および補充員

任期満了に伴い選挙した結果、次の方々が当選しました。

選挙管理委員

三輪一男 氏（平島）
青木 忠 氏（東中地）
伊藤敏智 氏（大谷）
早川優子 氏（馬ヶ地）

補充員

佐藤雅夫 氏（樺場）
伊藤 学 氏（寛延）
伊藤 操 氏（前ヶ須）
服部 勝 氏（五之三）

教育委員

池田教育委員の辞任に伴い、後任者の任命に同意しました。

大木博雄 氏
（60歳・平島）